

「経済学」と「社会・社会的」

① いわゆる「経済学」について

οικονομια/ οικονομικος/ οικονομια (οικονομια/ οικονομikos/ οικονομικα)

語源は *οικος-νομος (οικος-nomos)* ; すなわち、オイコス管理学

οικος (οικος): スコットランドのクランに対応

小家族が集まってサブクラン、さらにその上にクラン

首長は、*δεσποτης (despotes)* と呼ぶ。

οικος は「大きい家」いわば拡大家族。この「家長」が貴族、一種の君主

「家政学」と言っても「大きい家」の管理学

大土地所有者、一族郎党を従え、物質生活の生産や家のサービスを奴隷にやらせていた。家長だけが政治共同体のメンバー。

倫理学、社会学、教育学、医学、農学の全てを含むことになる。

ポリティカル・エコノミーの登場

18世紀半ばに。

「大きい家」の物質生活の管理学から「国家」の物質生活の管理学へ

② “Social” は、単に “Society” の形容詞形ではないということ

<市野川容孝>

ルソーの『社会契約論』(1762) → “社会的契約論” と言うべき

『百科全書』第15巻(1765)には、

「最近になって用いられるようになった新しい言葉で、ある人を、社会、特に人的交流において有用ならしめる資質を表現するとき用いられる。たとえば、社会的な美德」

<今村仁司>

二つの根源的關係<敵対と友好>

“social” (社会的) とは ;

それなしには社会が成り立たない何かを “social” と呼ぶ。

社会形成力、「社会に絆」 → 人と人とを結合する力

他人に対して親切であること。広い意味では、特に異邦人を仲間として処遇すること。ホスピタリティー、贈与行為

ドイツ語の *soziale Königtum (social kingdom)* は「気前のいい王権」の意味。

※ 友好関係

“society” (社会) とは ;

「利益動機によって結合するのが「経済社会」ゲゼルシャフト etc.

「権力的利害によって結合するのが「政治的社会」= 国家

→ 性質の異なる利害が存在することは、集団間の競り合いが存在する。

※ 結局は敵対関係

以上二つの根源的關係は圧倒的に敵対關係が有利に展開してきた。

要するに、《social》と《society》は峻別されなければならない。

こういう ;

Social has to do with interactions among people.

Societal has to do with something dealing with society as a whole.